

鷹廣委員（民主県政会）

令和8年3月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）これまでの高校の受験者数及び入学者数の推移について

令和7年度の公立高校及び私立高校の受験者数及び入学者数について、教育長に伺う。

また、令和2年度以降の数字の動きをどのように分析しているのか、その傾向と要因について、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

令和7年度の高校の受験者の合計数は、公立高校が15,068人、私立高校が18,751人となっております。この内、入学者数につきましては、公立高校が13,783人、私立高校が8,121人となっております。

私立高校授業料の実質無償化が開始されました令和2年度以降、少子化の進展等に伴い、県全体の受験者数、入学者数がともに減少する中で、公立高校は、受験者数、入学者数ともに減少する一方、私立高校はともに増加しており、結果として、受験者数、入学者数全体に占める公立高校の割合が低下している状況でございます。

その要因といたしましては、生徒が進学する高等学校を選択する理由は様々ございますが、私立高校授業料の実質無償化や私立高校における受験生確保に係る取組などの影響があるものと考えております。